

収穫体験のお楽しみ



今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

モミジやイチョウが美しく色づき、秋の深まりを感じる季節ですね。先日、社員たちと「秋ならではの食べ物」の話になりました。最近では1年中さまざまな食材が揃いますが、「やっぱりきのこのかなあ……」とつぶやいていると、その横で、社員たちは焼きいもへの愛について熱弁を振るっておいりました。そんなわけで、今回はおいしいもの話です。

皆さまは、成田空港から車で10分ほどの場所に、JAL Agriport アグリポート という農園があるをご存じでしょうか。ここで採れた野菜や果物は、隣接するレストランや成田周辺のホテルでご利用いただいております。季節ごとの収穫体験もご用意しています。冬から春にかけてのいちご狩りでは、立地柄、成田での乗り継ぎの合間にお越しになるお客さまも大歓迎です。そして、この時季の主役はさつまいもです。10月から11月の上旬まで、「紅あずま」と「紅はるか」の2種類のさつまいも掘りをお楽しみいただけます。時間は無制限、期間中にいらしたお客さまの中でチャンピオンを決める「さつまいも重量選手権」など

も開催し、大変な盛り上がりを見せます。「久しぶりに土を触ったなあ」と汗をぬぐうお客さま、「一つ一つこんなに形が違うんだ!」「食べるの楽しみ!」と、発見とワクワクを持ち帰る小さなお客さまも。皆さま弾けるような笑顔でお過ごしになります。

こうしたお客さまの声からふと思いつくのは、幼い時に体験したいちご狩りです。体験と共に得られる自然との触れ合い、家族や友人との時間、食べ物への慈しみは、何物にも代え難い喜びとなりました。今やインターネットで何でも手に入る時代ですが、私の勝手な脳内データによると、子どもの頃のさまざまな体験が多い人は、大人になってからも好奇心に溢れ想像力豊かである確率が高くと感じています。成田にお越しの際は、五感を使うリアルな体験が楽しめるJAL Agriportでのひとときをお過ごしになってはいかがでしょうか。

次回のご搭乗、ご来場も心よりお待ちしております。

イラスト／山本祐布子

とっとりみつこ／1964年、福岡県久留米市生まれ。1985年4月入社(客室乗務員)。2019年に客室安全推進部長、2020年に執行役員(客室本部長)、2022年に常務執行役員(客室本部長)、2023年に専務執行役員(カスタマー・エクスペリエンス本部長)に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員、グループCEOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。

